

# 公開研究会 「東日本大震災 復興と減災まちづくり円卓会議」

主催：日本建築学会 巨大災害からの回復力が強いまちづくり特別調査委員会

日程：2013年12月2日（月）13：30～17：00

会場：建築会館会議室（東京都港区芝5-26-20）

東日本大震災から2年9ヶ月が過ぎようとしている。被災地復興のプロセスは計画の策定からその後の復興事業へと進みつつあるが、その一方で様々な課題が明らかになりつつある。具体的なまちの再建と被災住民の生活再生との一体的な実現が強く期待される中で、それぞれの被災地で策定された復興計画がどのように事業化されようとしているのか、あるいは復興事業の実施に際する都市計画の構造的な課題は何か、津波被災リスクに接する沿岸地域で求められる、地域に根ざした復興と人命被害を減じるまちづくりの実現という視点から、これまでの問題点と今後の方策を論じたい。巨大津波による災害リスクは地形条件や都市・地域の立地、市街地の空間特性や社会条件などによって一様ではなく、災害リスクのきめ細かな調査研究が求められる。そして、それに基づくことで多様な地域特性に即した災害を軽減するまちづくりの選択肢の提示と専門的な支援が可能となる。居住地域の安全性を段階的に高める都市・集落の漸進的な整備誘導と移転計画や、農業・漁業特性に対応する高台防災住宅地の空間計画と整備開発、また津波防災機能を兼ね備えた都市住宅・地区計画の実証研究と事業手法整備など、取り組むべきこれからの調査・研究課題は多岐に渡るが、その実現には超長期的な都市計画の制度の研究開発など、社会全体で取り組むべき多くの課題が浮き彫りになっており、建築学会として取り組むべき課題と役割を明らかにしていきたい。

プログラム（発表タイトルには仮題を含む）

- 司会 北原啓司（弘前大学）
- 副司会 加藤孝明（東京大学）
- 記録 永野 聡（早稲田大学）、村上早紀子（弘前大学）

1. 開会挨拶・主旨説明 有賀隆（早稲田大学）

2. 主題解説

- ①小規模漁村集落の復興と津波災害に備えるまちづくり 富田宏（（株）漁村計画）
- ②釜石市での住民・所有者・利用者等の意向に基づく「街」への復興デザイン  
遠藤新（工学院大学）
- ③気仙沼まちなか三町・市民事業による内湾まちづくり支援 阿部俊彦（早稲田大学）
- ④石巻市における復興の現段階と課題 姥浦道生（東北大学）
- ⑤石巻市・復興再開発事業の計画と制度、その課題 田中滋夫（（株）都市デザイン）
- ⑥仙台平野の新たな農のある暮らしの復興デザイン 新井信幸（東北工業大学）

3. コメンテーション

後藤春彦（早稲田大学）、小浦久子（大阪大学）、有賀隆（前掲）

4. 円卓討論 主題解説者およびコメンテーター

5. まとめ

※都合により講演者が変更となる場合があります。

参加費：会員1,500円、会員外2,500円、学生1,000円

（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：60名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=625> よりお申し込み

ください。

申込問合せ：日本建築学会事務局 教育・普及事業グループ 酒井

TEL03-3456-2051 E-mail : sakai@aij.or.jp